

部局名	選挙管理委員会	所属名	選挙管理委員会事務局	所属長名	山崎 勇	電 話	483-1151 内線3640
-----	---------	-----	------------	------	------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3089		事務事業名称	選挙管理委員会運営事業					短縮コード	経常	3089	臨時	3810
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	04	選挙費	目	01	選挙管理委員会費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		・地方自治法 第181条 ・公職選挙法第5条 ・八千代市選挙管理委員会規程							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
公選法第5条等により下記の事務事業等に係る適切な管理運営を行う。 ・執行選挙運営管理 ・選挙管理委員会開催運営 ・選挙人名簿登録及び抹消処理 ・在外選挙人名簿登録及び抹消処理 ・検察審査員候補者予定者の選定 ・裁判員候補者予定者の選定													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱（章）	07	計画の推進のために						
・人口増に伴う一部投票区内の有権者の増加による大規模投票区化と投票所施設の狭隘化の進行。 ・高齢化の進行と共に投票所施設に対するバリアフリー化需要がさらに高まる。					大項目（節）	01	市民主体による自立的な行政経営						
					中 項 目	01	第1章市民参画によるまちづくりの推進						
					小項目（施策）	02	(2)市民参画体制の充実						
					細 項 目	02	②市民ニーズの的確な把握と市政への反映						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	・有権者 ・選挙管理委員会組織 ・公選法等が示す選挙管理委員会に課せられた選挙制度上の責務							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成24年度に実際に行ったこと： 1. 選挙管理委員会運営 2. 選挙人名簿登録及び抹消処理 3. 在外選挙人名簿登録及び抹消処理 4. 検察審査候補者予定者の選定 5. 裁判員候補者予定者の選定 6. 投票区・所の見直しの検討・調査							
	※平成25年度に計画していること： 1. 選挙管理委員会運営 2. 選挙人名簿登録及び抹消処理 3. 在外選挙人名簿登録及び抹消処理 4. 検察審査候補者予定者の選定 5. 裁判員候補者予定者の選定 6. 投票区・所の見直しの検討・調査							
意図 （何を狙っているのか）	・公職選挙法，地方自治法，八千代市選挙管理委員会規程等を遵守し，選挙人名簿の適正管理を始めとする委員会運営の諸課題に公正，適切に取り組む。 ・適正な規模の投票区の設定，安全・適切な機能を有する投票所施設の確保等，各種選挙の実施環境を整備する。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 3 年度	2 4 年度		2 5 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	選挙人名簿登録・抹消数	人	14,995	17,000	20,004	17,000	
	指標 2	在外選挙人名簿登録・抹消計	人	61	80	30	80	
	指標 3	登録選挙人数（各年3月定時登録者数）	人	152,292	153,000	151,888	153,000	
活動指標	指標 1	選挙管理委員会開催	回	21	24	30	25	
	指標 2	選挙人登録及び抹消(定時)	回	4	4	4	4	
	指標 3	選挙時の登録	回	0	7	2	2	
成果指標	指標 1	選挙人名簿からの登載遺漏訂正請求申立の件数	件	0	0	0	0	
	指標 2	区内有権者5,000人を超える投票区の割合	%	24.3	24.3	21.6	21.6	
	指標 3	投票所における事故の発生件数	件	0	0	0	0	
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	3089	事務事業名称	選挙管理委員会運営事業				所属名	選挙管理委員会事務局
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			投票区・投票所の新設・変更については、有権者数や施設情報の変化を反映したより良い投票環境を有権者に提供することが出来るよう、関係者との合意形成を重視しつつ臨むこととする。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
	☐ 廃止・休止							
	☐ 事業完了							
☐ 現状のまま継続								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			・今後も投票区・投票所の見直しが、必要となると予想されるが、本事業自体が用意すべきは事業従事者の人件費がほとんどであり、経費増大は特に想定するところではない。 ・一方、成果においては、投票区の見直しによる規模の適正化、投票所の見直しによる安全性、機能の向上は確実に期待できる。		
			削 減	不 変	増 加			
	成 果	向 上	☐	☒	☐			
		不 変	☐	☐	☐			
		低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
・投票所の狭隘化を指摘し対策を求める意見 ・高齢者・障害者等にとって建物2階にある投票所が大変不便であるとの意見 ・投票所だけでなく投票所に至る道路環境の改善を求める意見 ・投票所変更にかかる有権者への周知方法の改善にかかる意見 ・投票率の向上及び投票の利便性向上のために期日前投票所の増設を求める意見									

所属長コメント	投票区・投票所の見直しについては、宅地開発等による人口の増加に伴い大規模投票区化している投票区があるなどの理由により実施することとなるが、実施にあたっては、利害関係を有する有権者の理解をえなければならないことから、中期的な視点で取り組むこととし、調整には慎重かつ周到な準備をもって臨んでいく。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			投票区の見直し等については、課題解決に努め推進すること。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									